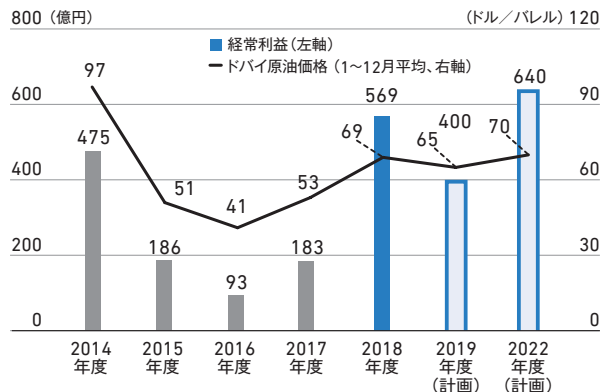


# 石油開発事業



# OIL EXPLORATION AND PRODUCTION BUSINESS

**経常利益** ※操業会社(アブダビ石油、カタール石油開発、合同石油開発)は12月決算



- 強み**
- 約50年にわたるアブダビでの安定した海上油田生産実績に基づく強固な信頼関係
  - アブダビ石油の既存3油田の30年間の権益延長とヘイル鉱区取得、ヘイル油田でのフル生産
  - 当社の筆頭株主であるMIC (旧IPIC)<sup>※1</sup>の出資先であるセブサ社<sup>※2</sup>とのアライアンス

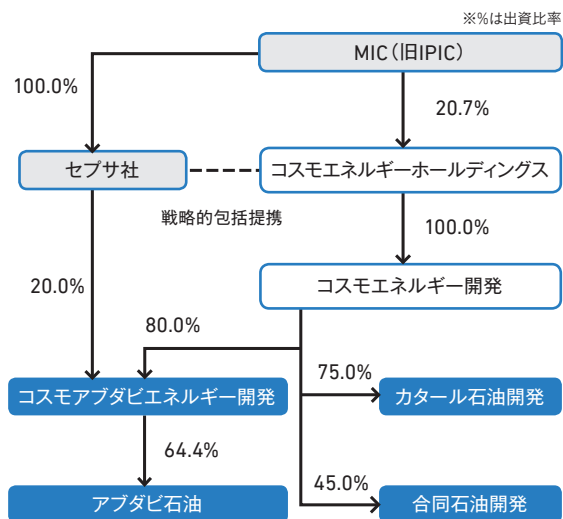
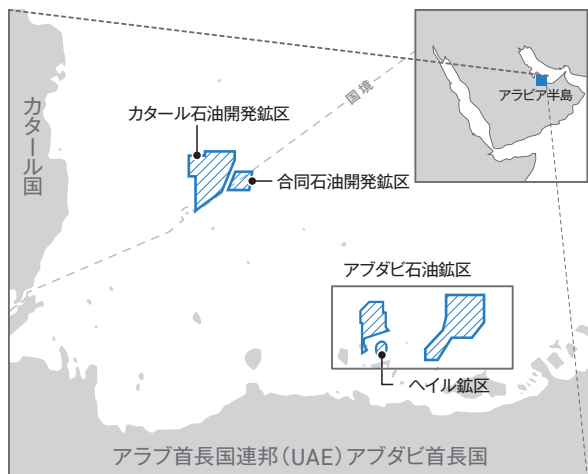
※1 アブダビ首長国100%出資のエネルギー関連投資会社IPIC (International Petroleum Investment Company) とMDC (Mubadala Development Company) が統合し、持株会社としてMIC (Mubadala Investment Company) 設立。 ※2 スペインの大手総合石油会社

## 長期にわたる安定した生産実績による強固な信頼関係と、自社操業(オペレーターシップ)を活かした高い競争力

アブダビ首長国と過去50年間にわたる信頼関係をもとにアブダビ石油の4油田(ムバラス油田、ウム・アル・アンバー油田、ニーワット・アル・ギャラン油田、ヘイル油田)の権益を保有しております。カタール国ではカタール石油開発の3油田(アル・カルカラ油田、A構造北部油田、A構造南部油田)にて、アブダビ首長国とカタール国との国境地帯では合同石油開発のエル・ブンドク油田にて、

長期にわたって安定的な生産を継続しております。また当社グループはオペレーターとして石油開発と生産を行っております。油田に関する技術やノウハウ、経験が蓄積されているため、低コストでの原油生産が可能となり、ドバイ原油価格が30ドル/バレル台まで下落した2016年度の厳しい環境においても、経常利益は黒字となるなど、高い競争力を有しております。

### コスモエネルギーグループの鉱区



## 2018年度実績

2018年1月よりヘイル油田がフル生産を継続し、生産数量は前年比35%増加の52,303バレル/日となりました。油価上昇等の環境もプラスに働き経常利益は569億円(前年比+386億円)となりました。

## 2019年度見通しに関して

ヘイル油田から最大限、原油を回収するため、2019年度のヘイル油田の生産数量を抑制し、2次回収<sup>※</sup>に向けた検討を進めてまいります。これにより2019年度の経常利益は400億円(前年比-169億円)を見込んでおります。

※2次回収とは：油田の周辺に水やガスを圧入し、油層圧力を回復させ、自噴をサポートしながら原油を生産し、回収率を高めることをいいます。

### ヘイル油田生産により収益力強化を実現

当社グループのアブダビ石油は2012年12月にヘイル油田の権益を取得し、2017年11月より生産を開始しました。アブダビ石油の生産量増加に伴って当社グループの収益力は、大きく向上しました。また、ヘイル油田は既存油田の近傍に位置するため、既設設備を最大限活用することで、新たな設備投資の抑制ができただけでなく、生産量の増加に伴い単位当たりの操業

コストを低減することもできました。ヘイル油田については生産開始後、想定よりも油層圧力の低下速度が大きいことから、2019年は水攻法などの2次回収方法を検討していきます。2次回収へ向けた対応が完了した後は、従来予定していた生産数量に回復する見込みです。今後も各油田において安定生産を遂行し、日本への安定供給に寄与していきます。

